

林業普及現地情報
2012- 9号(通算167号)
平成24年11月16日
大船渡農林振興センター
記述者 上部明広

震災復興に係る木材利用研修会の開催

東日本大震災津波の影響により、木材流通や利用に関する考え方が大きく変化していることから、今後の素材生産の方向性を検討するため、震災後の素材流通状況や住宅部材での地域材の利用状況に関する講演と意見交換を行いました。

1 研修会の概要

研修会は、気仙地方林業振興協議会、大槌・気仙川流域森林・林業活性化センター、大船渡農林振興センターの共催で、平成24年8月24日に、大船渡地区合同庁舎で開催しました。

2 講演概要

(1) ノースジャパン素材流通
協同組合 高橋常務

「震災後の素流協の取組み
と素材流通の現状」(図-1)

震災で被災した北日本プライウッドが廃業し、流通構造が大きく変化した。代替出荷先の確保に取り組んでいるが、運搬距離が長いことなどが課題となっている。

(2) スモリ工業株式会社 須
森代表取締役社長

「山からの家づくり」

(図-2)

林業に携る人の熱意や誠意を施主に伝えるため、けせんプレカット事業協同組合と連携し、地域材を利用した家づくりに取り組んできた。家づく

りを通じ、山が元気になるように、今後も地域材を利用したいと考えている。

(3) 意見交換

今後の素材流通の見込や住宅建築における地域材の利用等に関する意見交換が行われました。

3 今後の予定

今後も震災の復興に向けた研修会等を継続して実施したいと考えています。



図-1 ノースジャパン素材流通協同組合の講演



図-2 スモリ工業株式会社の講演